

作って伝える

伝統あるおかんじゃけを
後世に伝えていくための
講座です。

「おかんじゃけ」

7月15日(火)、16日(水) (全2回)

午後1時30分～4時30分

- ◆対象：18歳以上の人 8人
- ◆会費：1人1,500円
- ◆会場：薬科生涯学習センター 2階ホール
- ◆講師：松本 健作 氏(静岡県書写書道振興会副理事長)
- ◆申込：6月13日(金)10時00分より、ホームページまたはお電話にて薬科生涯学習センターまでお申込みください。(申込順)

HP(会員登録が必要です)→



◆郷土玩具「おかんじゃけ」◆

おかんじゃけは薬科地域の伝統的な郷土玩具です。真竹を金づちで叩いて繊維状にしたもので、昔は子どもが相撲の軍配やお人形にして遊んだそうです。現在も毎年7月に洞慶院御開山忌の縁日で縁起物として販売されており、「縁日でおかんじゃけを買って病気をしない」と伝えられ、魔除けとして玄関につるされています。

昔は全国各地で同様のものが作られていましたが、その故事、由来の口伝は様々であり、製法は同じであっても各地によって呼び名は色々あり約三十種類にも及びます。今では全国でこの静岡・羽鳥にしかない貴重な郷土資源になります。おかんじゃけをご存じない方もこの機会に是非、知って作って楽しんでみてください。

◆静岡市薬科生涯学習センター

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

〒421-1217 静岡市葵区羽鳥本町 5-9

☎ 054-278-4141

静岡市生涯学習センター ホームページ

<https://sgc.shizuokacity.jp/>



おかんじゃけ君
服織地域に伝わる郷土玩具
「おかんじゃけ」のキャラクター



「藁科おかんじゃけの会」の紹介

「藁科おかんじゃけの会」は、令和2年度から令和4年度の本講座受講者と講師の松本健作氏から成る、藁科地域の郷土玩具「おかんじゃけ」の文化を後世に伝承していくための活動の場として、令和3年5月に発足しました。

「藁科おかんじゃけの会」では、年間をとおして「おかんじゃけ」の普及活動や知識を深める講演会、竹および「おかんじゃけ」の新たな可能性を模索するなど、様々な活動を行っています。

令和5年度は藁科生涯学習センターが改修工事で休館していたため服織地域学校協働推進員及び南藁科小学校・服織中学校と連携し、授業の一環としておかんじゃけ作製体験と竹の繊維を用いたクリスマスリース作りを行いました。

令和6年度は藁科生涯学習センターにて「おかんじゃけ」を作製する講座、また、おかんじゃけの繊維部分を使って親子でクリスマス飾りを作る講座、麻の葉工房主宰の亘正幸氏を講師にお招きし、同じく繊維部分を使った髪結い講座(島田髷、桃割れ)、年末には「おかんじゃけ」を作ってお正月飾りに仕上げる講座と全7回開催いたしました。

今後もおかんじゃけの周知・伝承を目的とした活動をしてまいりますので、ご興味がありましたらぜひご参加ください。

<活動の様子>



「おかんじゃけ」の説明をする松本先生



「おかんじゃけ」の作製を手伝う松本先生



受講者の様子



繊維を使っのクリスマス飾り講座の様子



繊維部分を使っの髪結い講座の様子



お正月飾りに仕立てた「おかんじゃけ」(受講者作)



竹筆で書いた書き初め(受講者作)